

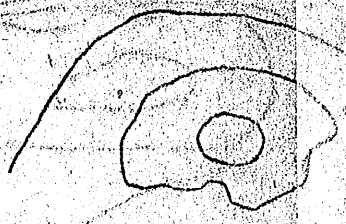
作令后中輝

六

第三班

綴

三中队
 二中队
 一中队
 三中队
 二中队
 一中队
 三中队
 二中队
 一中队



北
 南

沖繩作戰
 二九八

步兵第三十二聯隊史実資料

昭和二十二年三月二十五日
 第三十二軍残務整理部

步兵第二十二聯隊史実資料

第一部隊復歴概要

一昭和十九年七月六日

動員下令

一昭和十九年七月十日

動員完結

一昭和十九年七月十四日

滿洲国東安省西東正出奔

一昭和十九年七月十八日

博多上陸 熊本到着

一昭和十九年八月七日

沖繩本島那覇港上陸

一昭和十九年八月十日

中頭郡茶谷村良久得到着

一自昭和十九年八月十一日

右地区に陣地構築並に防衛

一昭和十九年八月二十日

島尻郡小祿地区に進み、良久得到着

一昭和十九年八月三十日

島尻郡小祿村到達、同日ヨリ同地区

一昭和十九年九月十日

に陣地構築並に防衛

一昭和二十年三月二十三日

沖繩一帯に敵機爆撃開始

甲号戰備下令同日予以戰鬥配備

完了

聯隊長戰死

師團司令部於師團長自軍旗

ヲ燒却ス

昭和二十年六月二十日

昭和二十年六月二十四日

戰鬥配備本記要圖ノ如シ

第二步兵第二十三聯隊戰鬥經過ノ概要
至昭和二十年六月二十二日

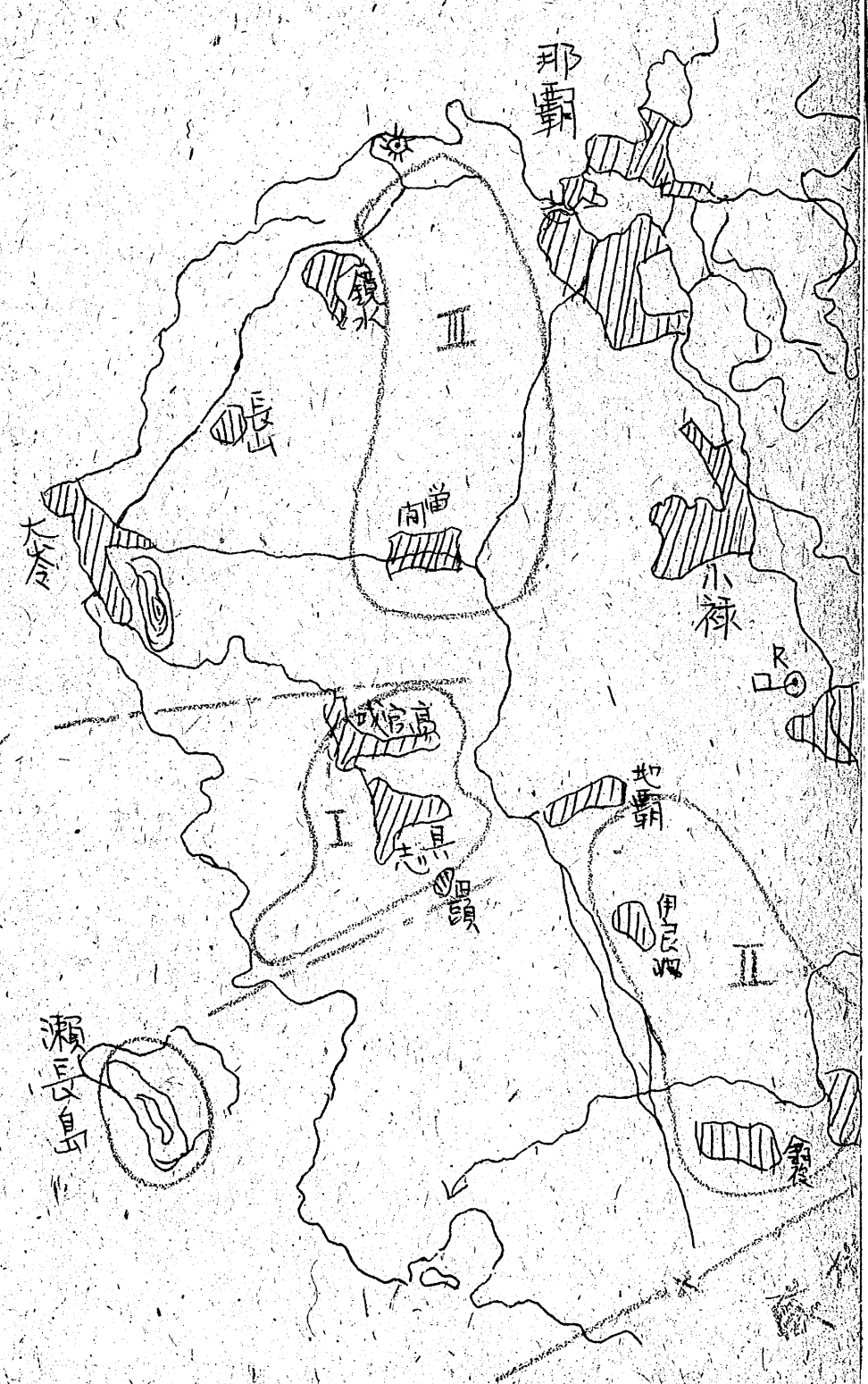
62D



曹長

保長

西地



上右

四月十日夜石兵団(第六十二師団以下同)ノ指揮下ニ入り嶺里嶺辺ニ集結シタス
 四月十一日夜首里嶺ノ嶺周辺ニ集結シ略奪了セシモ各隊ノ當手控置ナラス
 四月十二日首里嶺ニ防備隊ヲシテ兵団独立歩兵才二十二大隊(長峯崎中佐)ノ
 任務ヲ継承独立歩兵才二大隊(長有働少佐)防衛隊隊等ヲ指揮下ニ
 ラシメテ在リ那覇戦車隊ト協同シト連繫ヲ保テ連玉嶺ヲ占領陣地ヲ築
 四月十三日大隊長指揮下ニ中隊基幹ノ部隊(所要ノ重火器ヲ含ム)ヲ遣出スルカ
 命ヲ承テ才二大隊(長平野少佐)JA隊及(才久)ヲ石兵団独立歩兵才十二
 大隊(長賀屋中佐)ニ配属ス同日首里嶺ニ出陣ス
 四月十四日大隊長ノ指揮下ニ中隊基幹ノ部隊(所要ノ重火器ヲ含ム)ヲ遣
 出スバキ命ヲ承テ才三大隊(長長田少尉)ヲ石兵団独立歩兵才
 二十二大隊(長山本少佐)ニ配属ス同日連玉嶺ニ出陣ス
 此間首里嶺邊ニ森周辺ニヨリ陣地ヲ強化中ナリ時自艦砲射撃ヲ受ク
 四月十七日山兵団(才二四師団以下同)ニ復テ命セラレ直ニ和洋隊
 上原一棚原線ヲ占領シ師団主力ノ首里嶺邊ニ進出シ掩護スバキ命セラレ
 石兵団トノ作戦地境左ノ如シ

此時取隊長以上 正副官 A
同時敵兵艇中慶リウクノカ原(50) 高心附近ニ逐次現出シ石部隊ハ
寡兵克クシ之ヲ激戦中

敵艦ヲキモハ巡洋艦ニト三配逐艦救果常時中城灣ハ至近距離
ニ在リ主トシテ運玉本原ニ我謝小波津附近ニ対シ艦砲射息中
敵機ハ記エズ数機上空ニ在リ運玉本隊取隊本部附近砲兵陣地ニ対
シ急降下爆撃ヲ反復レシテリ
此ノ向取隊長ハ才ニ才三大隊ノ状況ニ関シ石兵団ヨリ何等通報ニ接セ
ザルヲ在我如古東亦高心才ニ大隊ニ対シ消息(本田少尉)ヲ派遣才ニ
大隊ノ情况ニ就キ知リ得ル所左ノ如シ
才三大隊ニ関シハ状況判明セズ

才二大隊ノ状況 左記
大隊ハ四月十三日 我如古東才ニ高心線ニ進出直キニ該地ヲ占領セルモ
右部隊ノ兵力減耗シ我カ才ニ大隊ノニ敵中ニ孤立突出レテリ才三才ヨリ
取隊長才ニ才十枚砲ヲ基點トシ才三部隊ノ猛攻ヲ受テ之ヲ激戦中ナリ敵ニ
才三才相シ損害ヲ受ル才三才我亦艦砲及射撃車砲連射中才三才受

三期頃命令ニ基ク和守慶一上原一棚原ノ線ハ其ノ後ノ実情ハ取隊ヨリノ意見
日中ニ依リ我謝一小波津ノ砲台ノ幸也ノ線ニ改メテ十月三日高心ニ西スル
大規模ノ斬込ヲ以テ敵ヲ進出ヲ妨害也ニ懸ル才三才命令ヲ受テ
此時統一部運玉本隊ニ進出シ来ル
四月十三日 取隊長ハ才三大隊ハ才三才高心ニ西スル夜襲ヲ命ジ才三才部隊
側待機ヲ進出ス

此頃敵師団戦斗命令所ハ依然トシ島尻砲台座ニ在リ連絡意々才三才
ヲ其ノ企圖モ不明ニシテ亦其命令ニ失情ニ合セズ屢度更セラレ直
地夜襲如キハ準備人余裕全クナリ無準備ノ儘敵情不明ノ才三才
夜襲ヲ決行ス
才三才大隊ノ夜襲ハ失敗ニ終リ此戦ヲ終テ才三才中隊長鈴木中尉以下
十名ヲ失フ戦果不明
此頃向二西師団主力ハ逐次自原田地ニ進出シ来リ歩兵才三才三
才三才(正副官)ハ才三才(正副官)ニ連射ヲ命ジ才三才(正副官)ノ陣前
才三才(正副官)ヲ以テ行四日(才三才)才三才(正副官)ヲ以テ所傳命ノ線ヲ
占領セルモ取隊長ハ再度運玉本隊ニ進出ス

三月三日 37ABMS 命

12. 四月二十三日所命ノ如ク既備ヲ怠ラズ
13. 四月二十五日敵ハ遂ニ陣前ニ現出シ来リ同日才一大隊前進陣地ニ於テ
敵ノ奇襲ヲ受テ戦果不明損傷甚多ナリ

14. 四月二十六日朝才一大隊長以陸軍少佐鶴屋武朝率心南方萬也兵
敵艦砲ノ直撃ヲ受テ戦死 联隊附陸軍大尉小成正才一大隊長
ニ補テレシ同日夜ヨリ大隊長ヲ指揮ス

15. 此頃联隊本部ハ解テ岳ニ移動ス
16. 四月二十二日頃才一大隊長联隊ニ復帰联隊ノ左才一線トナリ首軍
作行軍東側ヨリ占領

17. 右陣地ニ対シ敵ハ二十七日頃ヨリ戦車ヲ先頭ニ改更トシ走り
才一大隊長才一大隊長ハ此ト激戦力斗五日三日夜連日其ノ陣前
於テ各一五〇一二〇ノ敵ヲ殺傷其企圖ヲ破摧セルモ我方ノ損傷
又甚カラス

此ノ向歩兵砲中隊及陸軍中尉田中正義以下多ク戦死シ
18. 五月四日軍人企圖セル總攻中三連ヲ联隊ハ中突進防トナリ22PA. 在
其後ヨリ前進スルリ命セラレ特ニ其一部ヲ以テ金剛長西側台ニ在

一隊ヲ長ニ命ジ改更ヲ実施セシム
五月四日〇四三〇砲兵ノ突撃支援射撃ニ層層接シ才一中隊長木口大尉
以下全員帰還セズ五月三日夜联隊長ハ幸也南方一五料才一大隊長
大隊本部ニ前進シ来リ毛攻中三伴ニ五月六日夜解テ岳ニ復

19. 爾後各大隊共二日陣地ニ御リテ戦斗ヲ継続セルモ右才一線トナリ
總攻中並後全面的ニ敵ノ圧迫ヲ受テ敵ハ連玉森林前ニ進出シ
来リ 桃原小波津又敵ノ進ヲ入スル所トナリ左才一線才一大隊長田
毛才一大隊長ト中間地ニ敵益出シ来リ毛各隊既ニ兵力減

20. 五月三日夜独歩兵才二八大隊联隊ノ正面ニ増強セシメタレハ
時陣地ヲ強化スルヲ得タルモ該部隊又数日ニテ潰滅的打撃
受テ联隊特ニ才一大隊長ハ敵中ニ突出孤立シ現陣地ノ維持ハ困難

トナリソノアリ
此頃迄ニ各大隊ハ既ニ幹部以下大部ヲ失ヒ兵力僅ニ〇〇名
前後トシ五月五日才三中隊長川島中尉戦死
20. 此頃才六十二師団ヨリ復帰セル才三大隊長以陸軍大尉田中正義

五月

11. 以テオ一大隊ト交代セシ一部戦線引退セシメテ各西大隊
 ヲ重疊配備セシモ四月九日オ一大隊及オ三大隊独立歩兵オ二十八大隊等
 中隊共敵ノ急襲ヲ受ケオ三大隊散田川大尉以下及全員
 ヲ失フ。隊長ハ新二部隊ニ解体転属セシメラタリ。以下及全員
 21. 依テ聯隊長ハ新二部隊ニ解体転属セシメラタリ。以下及全員
 備隊及那覇分廠要員ヲオ一オ二西大隊ニ配属シ首里北側
 辨ヶ嶽附近ヨリ150-140高地ノ線ニ右ヨリオ一オ三オ二大隊ヲ配
 置セシメ、新二陣地ヲ占領セシム。此ノ向作井隊及独核等ヨリ
 人員及兵器ノ補充ヲ受ケ
 此ノ時ニ於テ大隊ノ戦力ハ各大隊長以下数十名ニシテ100名
 ニ充タズ。兵員彈藥ノ補充竟ノ如クナラス糧秣ノ補充ハ
 人員ノ都合上殆ト不可能ナリ。オ三大隊ノ如キハオ十中隊長
 渡辺大尉以下十数名ノミ
 22. 五月十三日頃ヨリ敵ハコノ陣地ニ對シテ反復猛攻ヲ加ヘ来リ、各大隊
 共一二機関銃各中隊一二ノ擲彈筒及手榴彈ヨリ連日敵

伊東第一師団
第五中隊

ノ攻罽ヲ破推セルモ我方損害又急増シ聯隊本部要員ソ他員傷者ト雖天後
 送スルコトナク全カヲ竭シテ激斗セルモ如何セシ遂ニ各大隊共一二名ノ將校若クハ
 進士官ヲ有スルノミニシテ人員又僅々数名ヨリテオ一大隊ハ五月三
 十日オ二大隊ハ五月十九日各大隊本部夫馬東攻罽ヲ受ケ茲ニ此陣地ハ
 敵手ニ落ツ。I. 32 (伊東大隊) 未援シ50高地ノ奪回ヲ企圖セルモ遂ニ不成功ニ
 22. 此頃輜重兵オ二十四聯隊較馬大隊(長大橋少佐) 新二辨ヶ嶽附近二陣地
 ヲ占領シオ一大隊ト全滅ト共ニ敵ヲ激戦中ナリシヲ以テ聯隊長ハ新
 二東隊セシメラシタル臼砲兵大隊長緒方少佐ヲ長トシオ三大隊ヲ編成
 (數十名) シ以テ此戦ヲ参加セシメ輜重隊較馬隊ヲ併セ指揮ス
 此向オ一オ二大隊長ハ閉塞セラレタル壕ヨリ逐次奇蹟的ニ奪還セルヲ
 以テオ二大隊ヲ編成参加セシメオ一大隊ヲ三ノ備隊トシ首里新川附近
 二於テ員傷者後方部隊ヨリノ転属者等ヲ以テ大隊ノ再編成ヲナシ
 24. 五月二十五日軍ハ首里附近ニ於テ陣地ヲ撤去シ島尻地ニ進駐シ長期待合
 策スベキ旨ノ命ヲリタルヲ以テ聯隊長ハ軍ヲ前進討伐ニ従ヒテ東進ヲ開始ス
 25. 五月二十八日夜聯隊ハ山岳田ノ牧客隊トシテ友軍ニ到達直ニ牧客陣地ヲ占
 領セルモ左右鏡波及稻嶺附近ニハテ定ノ如ク我ト連絡スルヤ部隊ナキヲ以
 加効ヲ定統ヲ占領ス

26. 五月三十日頃ヨリ敵ハ逐次進尾シ来リ各大隊共ニ輕戦ヲ交ヘルモ敵ハ逐次攻テ迂回進出シツツアリ

27. 聯隊ハ一部ヲ残置シテ眞壁ニ轉進兵团ノ準備トナルガキ命ヲ承ケ六月十日才一大隊ヲ志多伯ニ残置シテ轉進ス

28. 聯隊ハ六月七日眞壁着仰団ヲ備隊トシ

29. 才一大隊ハ志多伯ニ於テ優勢ナル敵ノ攻撃ヲ受ケ善戦大クニ敵ノ銳鋒ヲ挫キタルモ遂ニ同日夕該高地ニ馬車攻撃ヲ受ケ六月八日眞壁ニ至ル

30. 六月十四日頃師団ノ左翼進出面ハ情況急變ニ伴ヒ主カハ四〇〇ト交代スガキ命ヲ受

ケ上ニ才線トシ眞壁至ニ至ル同時迄ハ八〇〇ニ配属ノ命ヲ受ケ在テ才線ニ到ル

又六月十七日執物トシ敵ノ攻撃ヲ退セルモ敵ハ逐次右才線トシ中回ニ逐次進出シツツアリ情況極テ險悪ナリ

五月十九日敵ハ才線ヲ南進来ル我方兵器彈藥既ニナリ僅カニ各隊ニ三ノ小銃及數名ノ兵トシノ三加之外ハ研滅ニシテ散兵壕スラ掘開困難ナル地形ニテ

テ勿ク敵迫裏砲ノ集中射撃ニシテ殆ト全員戰死シテ師団長ハ突被セラ

レ聯隊本部各大隊本部又馬車攻撃ヲ受ケ聯隊長ハ殆ト全員戰死シテ師団長ハ突被セラ

在ト戦死セルモノ也

師団長自ラハ六月二十四日處理シ奉リシト傳ク後刻師団司令

部生存者砂田軍属ノ諸ル所ニヨレハ六二二聯隊長ハ六月二十日戦死シ

軍旗獲送ノ兵ハ途中四名戦死シ司令部ニ到着セルモノハ二名ナリト

云ラソノ氏名ヲ詳ニスルヲ不得